

経営比較分析表（令和2年度決算）

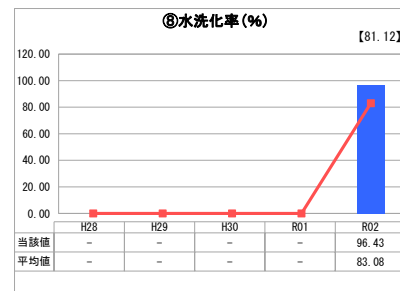
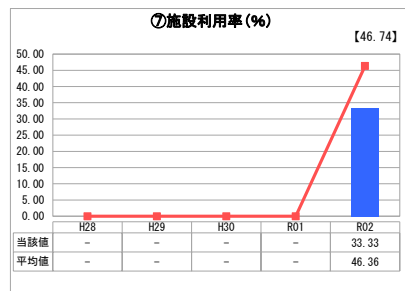
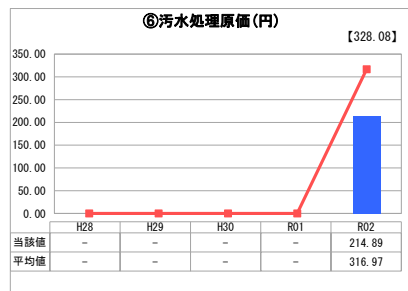
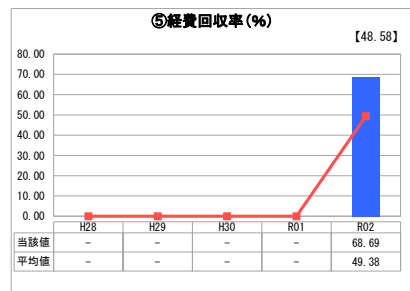
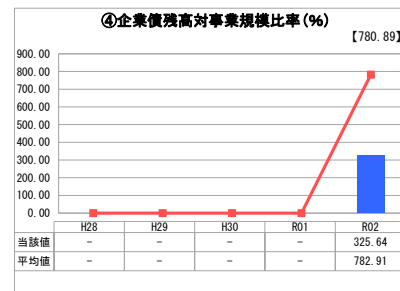
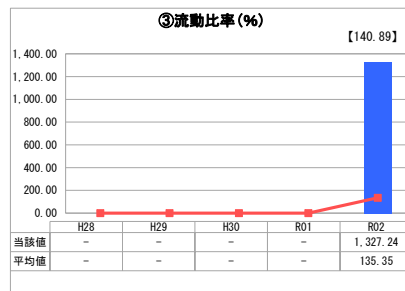
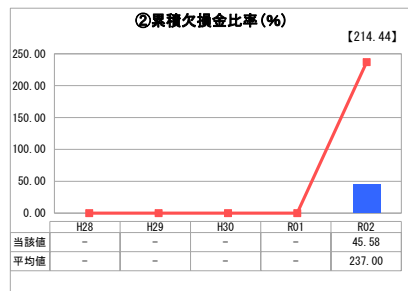
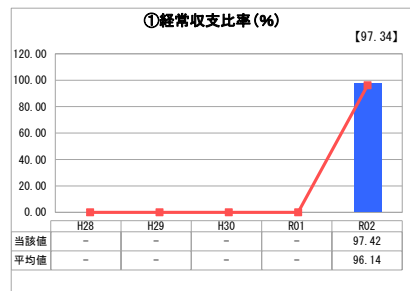
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	88.74	0.10	100.00	3,270

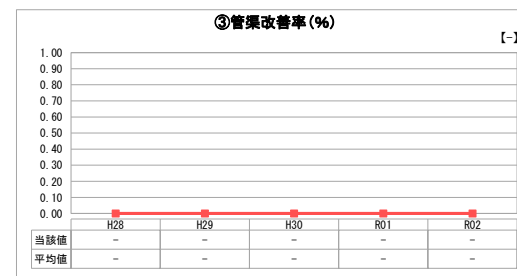
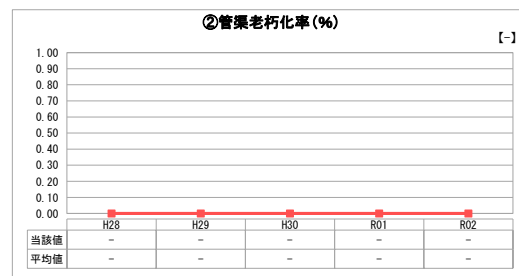
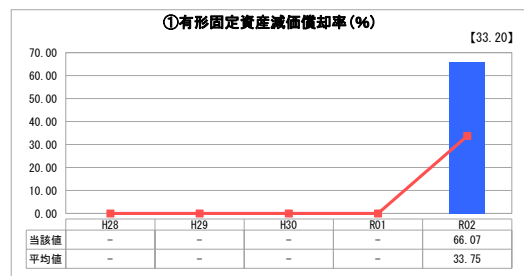
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
28,396	793.29	35.80
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
28	0.01	2,800.00

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業会計に移行したことに伴い、令和元年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

①経常収支比率が100%を割り込む赤字経営となっている。

②累積欠損金比率は、企業会計移行時に欠損金が発生したが、今後も経営改善を図り、使用料改定を行うことにより累積欠損金比率も減少する傾向と考える。

③流動比率は、企業会計移行時の現金が多額であったため比率が高い。

④企業債残高対事業規模比率は、全国平均を下回っているが整備は完了しており企業債残高は今後低下していく見通しである。

⑤経費回収率は全国平均以上であるが、下水道使用料単価が安価なため使用料で経費が賄えていない状況である。

⑥汚水処理原価は、類似団体や全国平均より低くなっている。

⑦施設利用率は、全国平均や類似団体平均より低く人口減少や高齢化の傾向が高い地域であり有収水量が少なくなっていることが要因である。

⑧水洗化率は平均値より高いが、接続助奨等で未接続世帯の接続促進を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設は比較的新しいが、今後、浄化槽フロアの故障の発生等が予想される。

全体総括

収益的では赤字であり、より慎重な財政運営が必要となっているが、事業の性質、地域の特性などを考慮するとコスト縮減などでは大幅な改善は見込めないため、適正な下水道使用料の改定を行うことが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。